



志楽小学校だより

舞鶴市立志楽小学校
令和6年度学校だより
第11号
令和7年1月8日発行

3学期のスタートに当たって ～やるぞ! 行くぞ! の気持ちで～



新年明けましておめでとうございます。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、穏やかな新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

子どもたちの笑顔と元気な挨拶で3学期が始まりました。始業式では、昨年元旦に起こった能登半島地震、また夏には豪雨の災害もあっていまだに元の生活に戻っておられない方もたくさんおられることの話をし、いつ、何が起こるか本当に分からない、だからこそ、改めて日頃の訓練を大切に、たった一つしかない命を大切にしてほしいという話をしました。

ファーストペンギンのように



新年、そして3学期を迎え、目標を立ててがんばろう!新しいことに挑戦しよう!と思っている子どもたちに『ファーストペンギン』の話をしました。「ファーストペンギン (The first penguin)」とは、集団で行動するペンギンの群れの中で、魚を捕るために最初に海に飛び込む勇気ある一羽のペンギンのことです。

海の中には何があるか分かりません。そこにはペンギンの天敵、シャチやアザラシがいるかもしれません。それを恐れずに飛び込むペンギンのことを「ファーストペンギン」と呼ぶそうです。一番に飛び込むことでえさの魚をおなか一杯に食べられるということがあります、それだけでなく、あとの仲間が安心して海に入ることができる状況をつくることで、仲間の役にも立っています。アメリカでは、このように勇気を持って未知の世界や仕事に飛び込むことを「ファーストペンギン・スピリット」というそうです。何か新しいことに挑戦するときには、ファーストペンギンのように「いくぞ!」「やるぞ!」といった勇気や覚悟が大事になってきます。子どもたちには、この3学期、新しい年に、ファーストペンギンのように勇気や覚悟をもってどんどん挑戦をしてほしいと思います。

後になりましたが、本年も教職員一同、子どもたちが失敗を恐れず勇気を持って一步を踏み出せるように子どもたちの挑戦を応援し、失敗したりつまずいたりしたときには寄り添っていきたいと思います。保護者の皆様、地域の皆様にはこれまでと変わりませず、温かいご支援・ご協力をお願い申し上げます。

校長 西井 佳寿美
教職員 一同



今年はどうな年?

令和7年は巳年。十干十二支では「乙巳(きのとみ)」で、「乙(きのと)」は、十干の2番目で「木」の要素を持ち、草木がしなやかに伸びる様子や横へと広がっていく意味を持ちます。また「巳(み・へび)」は、神様の使いとして大切にされてきた動物で、脱皮を繰り返すことから不老不死のシンボルともされています。そのため乙巳(きのとみ)の年は、「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく」年になると考えられます。

子どもたちには、へびのようにしなやかに変化を受け入れ、知恵を活かして成長する一年にしてほしいと思います。

